

令和元年度第2回岡山県環境放射線等測定技術委員会議事概要

日時：令和2年2月21日（金）13時30分～15時30分

場所：メルパルク OKAYAMA 3階 光琳

(1) 議事

議題①

令和元年度第1～3四半期の日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターの運転状況等について

- ・ 日本原子力研究開発機構が人形峠環境技術センターの廃止措置への取組、安全活動等の事業について計画どおり進捗したことを報告した。
- ・ 令和元年度第1～3四半期は事業所内で特に事故や異常等の発生はなかった。

議題②

令和元年度第1～3四半期人形峠周辺の環境放射線等測定結果について

【岡山県実施分】

- ・ 岡山県から、測定結果は管理目標値以下、あるいは従来との測定値と同レベルであったことを報告した。
- ・ 連続測定における空間 γ 線線量率について、令和元年12月に人形峠局及び赤和瀬局で平常の変動範囲を超える値が検出された。スペクトルデータの解析結果等から降雨により地表に落とされた大気中の天然放射性核種の影響であり、自然変動の範囲である旨を報告した。
- ・ 人形峠局において、機器更新時の納入業者の作業ミスにより、令和元年6月1日にダストサンプラが停止し、欠測が発生したが、それに関連して、正常に測定ができていない1件の測定値について欠測扱いとすることが承認された。
- ・ 令和元年7月の連続測定において、全局で検出下限値を上回る大気中ふっ素が検出された。気温の上昇など設置環境の変化に伴う機器の精度上の検出であった旨の見解を報告した。
- ・ 審議の結果、「異常なし」と評価された。

【日本原子力研究開発機構実施分】

- ・ 日本原子力研究開発機構から、測定結果は管理目標値以下、あるいは従来との測定値と同レベルであったことを報告した。
- ・ 審議の結果、「異常なし」と評価された。

議題③

令和2年度人形峠周辺の環境放射線等測定計画（案）について

- ・ 岡山県及び日本原子力研究開発機構から、それぞれ令和2年度人形峠周辺の環境放射線等測定計画（案）について説明した。
- ・ 審議の結果、「適当である」と評価された。

(2) 総括

議題の審議等の結果について、議長により総括がなされた。

- ・ 機器の更新など立ち会って確認を行う場合は、複数人でチェックする等の体制を整え、可能な限り人為的なエラーミスを減らすこと。
- ・ 県の立場から施設影響の有無を判断する場合、人形峠環境技術センターの見解を前提にしすぎると、第三者から疑念を抱かれる可能性があるため、お互い緊張感を持って見解を述べること。

(3) その他

①加工の事業に係る廃止措置計画について

- ・ 日本原子力研究開発機構から、現在原子力規制委員会へ認可申請している人形峠環境技術センターの加工の事業の廃止措置計画について、環境保全協定に基づく新增設協議書により説明した。

②連絡事項

- ・ 岡山県から、上齋原地区における原水（地下水）の調査について連絡した。
- ・ 事務局から、次回の委員会開催等について連絡した。